

平成27年度事業農業青年組織等活動活性化事業

事業主体名 伊佐 YAD クラブ

1 目的

本助成事業を活用し、共同プロジェクトとして水田を活用した地域活性化を行う。この中で農業高校生や他業種青年組織との交流活動を行うとともに各種地域 PR イベントに参加することで、会員の資質向上、地域農業の振興に資する。

2 実施状況

(1) ドロンコバレー調査を行う

9月20日、伊佐市転作田でドロンコバレーを試行した。

初めての経験で最初ぎこちなかったが、終盤では自ら泥の中にダイブするなど泥の魅力を感じることが出来た。

また、服装や用意すべき器具など実際経験しないと解らない注意点を見つけることができ、イベント開催には至らなかったが得るものがあった。



ドロンコバレーでの一コマ

(2) 伊佐 PR イベントで伊佐農林高生と連携

①伊佐新米祭り（10月30日～11月1日）

②伊佐ふるさと祭り（11月7～8日）

で伊佐農作物の PR・販売という目的を同じにしての交流を行った。

農家としての立場、学生としての立場それぞれからの観点からの意見交換はお互い得るものがあった。

また、関係を作ることで農林高生の地域農業への理解促進、就農意向醸成も図られた。



伊佐新米祭りで農林高と連携

(3) 県外視察で経営能力向上を図る

7月21～22日、熊本県の玄米ペーストを利用したパン工房と大分県の根深ネギの産地を視察し、先進事例を学んだ。

伊佐農業の中心であるネギと米作に関することで現状の問題解決や将来の経営展開に大いに参考になった。



ネギの先進地での研修

3 今後の課題、取り組み

引き続き、地域農業の発展・地域活性化に繋がる取り組みを含めた活動を行いつつ、会員間や地域との親睦を深めていく。